白山市立白峰小学校　校長室だより

しらみね物語 NO.１７

令和2年 1月１０日

あけまして おめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。

いよいよ三学期が始まりました。全員が元気に登校することができたことを、とてもうれしく思います。短い三学期です。子ども達の「できるようになりたい」「やさしくなりたい」の願いを叶えるべく、私たち教職員は全力で指導にあたっていきます。学年のまとめとしての学期です。身に付けるべきこと、学ぶべきことをしっかりと身に付け次の学年につながるよう頑張ってほしいと思います。

今年も保護者・地域の皆様の変わらぬご協力をお願いいたします。

「三学期のめあてを持って」　（始業式 校長講話より 抜粋）

これから、いくつかの数字を見てもらいます。その数字が何を表しているか、ひらめいたら、心の中でつぶやいてみてください。

２０２０。西暦で今年が何年かを表す数字です。東京オリンピック・パラリンピックが行われる年だと気づいた人も多いですね。７月～９月に行われます。楽しみですね。　～中略～

５１。これは、みなさんが三学期登校して、学校で過ごす日数です。１月～３月までの３か月といっても、休みの日を除くと、学校で友達となかよく勉強したり、運動したり、遊んだりする日は、５１日しかないのです。今日が終わるとあと５０日。１日ずつ減っていきます。ですから、今の学年でこのことはしっかりやりたい！次の学年になったらこうなっていたい！６年生であれば、中学生になったら！という心の準備を、この三学期にしてほしいと思います。そのために、今日からの三学期をどのように過ごしていきたいのか、ぜひクラスで話し合ってください。そして、自分のめあてをしっかりと持ってください。

「終わりよければ、すべてよし」。三学期も、みんなで一緒に頑張りましょう。

「書き初め」

1月8日始業式の日に、全校一斉に書き初めが行われました。日本の習わしである書き初めに、子ども達は真剣に取り組むことができました。久しぶりの学校でしたが、凛としたすがすがしい姿をどの教室でも見ることができました。出来上がった作品は、一斉に廊下に貼り出されました。なお、左義長に書き初めを出すご家庭もあると思います。書き初めを、本日持たせます。子ども達の文字が、これからも上達することを願っています。

＜見守り隊の皆さん・バスの運転手さん いつもありがとうございます！＞

１２月２４日（火）終業式後、毎日の登下校の見守りをしてくださっている子ども見守り隊の皆さんに感謝の気持ちを伝え、これからも見守りをお願いする『感謝の会』が行われました。

白峰の子ども見守り隊の皆さんは、総勢１６名いらっしゃいます。当日は、そのうちの７名の方にお越しいただきました。「いつも元気な挨拶がうれしいですよ。」「冬場は、屋根雪の落下にも気をつけてください。」など、あたたかいお言葉をいただくこともできました。児童からは、「暑い日も寒い日も風の強い日も、毎日ありがとうございます。」「毎朝声をかけて下さり、とてもうれしいです。」「来年もよろしくお願いします。」などと書かれた手紙を手渡しました。

１２月２０日（金）と２４日（火）には、桑島地区からスクールバスで通学している児童が、運転手さんに手紙を手渡し、感謝の気持ちを伝えました。

皆様のおかげで、安心・安全が保たれています。今後ともよろしくお願いいたします。

【バスの運転手さんに感謝の手紙】

【見守り隊の方からのごあいさつ】

【見守り隊の方に感謝の手紙】

＜車いすバスケットボール体験＞

１２月２０日（金）４年生は総合『共生～ゆたかで安心なくらし～』の学習で車いすバスケットボールの体験をしました。

【思い通りに動かすのは難しい！】

【学習の感想を伝えます】

【ゴール目指してシュート】

＜児童の活躍＞

白山市ライン賞　最優秀賞　　5年生：織田 千晴 ・ 永吉 渓 ・ 林　俊太

『千里浜の砂は白山の砂？』

＊2月17日、研究内容を市民交流センターで発表する予定です。